

市議会レポート

市民生活より私利私欲？

政治的駆け引きに予算を利用する新政クラブ・公明党

畠山市長の議会での発言によって明らかになった小林守利議長による市への圧力発言の数々。さらに、上尾市政はじめてとなる修正動議の可決においても、議長が修正動議を「お灸」と発言するなど、実際の目的は私利私欲であり、市民生活を無視した正当性がないものであることが明白になっています。

私たち上尾政策フォーラムは、議長に公開質問状を出してその発言について公の場での説明を要求するとともに、議長不信任案動議を提出し、議長の適任性について議会の場で問いただしました。

発言1 「今回、修正動議を出すのは、お灸をすえるということだ。」

修正動議が出された理由として市長は、小林議長が上尾駅西口にビル建設を提案しており、それを市が採用しなかったことがあるのではないかと述べています。市民生活を無視し政治的な駆け引きに予算を利用していることがわかります。



問題となっている議長の発言の数々

新聞でも連日報じられている小林議長の発言は、議会と行政の関係をゆがめるもので、汚職事件への反省がまったく見られません。

発言2 「お土産をあげ、お土産をもらう。それが政治だ。」

小林氏は新図書館の見直しに伴う請負業者への損害賠償をめぐり市長に「話をつける。5~6億必要」と話しており、これが「お土産」とすれば一昨年の汚職事件の再来を招くものです。

【新聞記事】
上 埼玉新聞 2019年3月23日
下 埼玉新聞 2019年3月15日

発言3 「我々は18人。どうすることもできる。」

「18人」とは新政クラブと公明党の議員を足した数で、議会の過半数を占めていることで市長が提出した議案を否決できることを示し、事前に議案を相談するよう圧力をかけた発言です。



議長とともに圧力をかける「18人」はだれか？

「18人」とは、自民党系の新政クラブと公明党上尾市議団を指します。この18人は市が提出した予算を否定し修正案の可決を行いました。これは市政はじめてのことです。しかし、この修正動議について小林議長は、新図書館見直しに伴う業者の仲介や上尾駅西口ビル建設など自らの意見が通らなかったことと思われる、「お土産」がないことに対して「お灸をすえる」ものだと、市民には到底理解を得られない理由を述べています。この私利私欲から生まれた修正案を結託して提出している以上、18人は「同じ穴のムジナ」です。

新政クラブ（自民党系）

小林守利（議長・前代表者） 新井金作（代表者）
尾花瑛仁 新道龍一 田中一崇 斎藤哲雄 小川明仁 星野良行
大室尚 渡辺綱一 嶋田一孝 深山孝 野本順一

公明党上尾市議団

長沢純（副議長） 道下文男（代表者）
戸野部直乃 前島るり 橋北富雄



小林議長の不公平な議事運営・暴言に NO ! 45 年ぶりの議長不信任案を提出

3/14 議長に公の場での発言 についての説明を申し入れ

小林守利議長に対して、市民も傍聴可能な公の場（全員協議会）での説明を申し入れ。18 日の回答で議長は発言を事実と認めたものの、「解釈の違いがある」ことを理由に全員協議会の開催を拒みました。

3/14 畠山市長が小林議長の 「我々は 18 人」発言を明らか

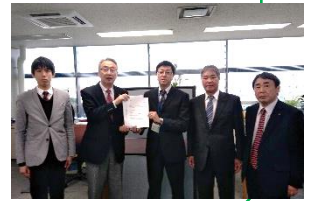
市長が、小川明仁議員の一般質問への答弁で「我々は 18 人。どんなことでもできる」と議長から圧力をかけられたことを明らかに。同時に議案の事前調整を求められたとの告発もありました。

3/20 新政クラブ・公明党が 修正動議を提出、質疑進まず

今回の目玉事業である図書館本館などを改修のため民間施設（PAPA）に一時移転する予算について削除をする修正動議が出され、新政クラブの提出者がこの事業を「十分な説明がなされていない」などと批判しました。これに対して上尾政策フォーラムの全議員は質疑に立ち、新政クラブなどが要求する資料はルール上提出が難しいことや今回の事業を削除して市民の安全が確保できるのかなどを問い質しましたが、新政クラブの答弁は「今後議論していく」に終始し、中身のない修正案であることが明らかになりました。

3/19 議長・副議長に対して 公開質問状を出すも回答なし

発言が事実であるかを公開質問状で質問。同席していたとされる公明党の長沢副議長にも同時に提出しましたが、期日までに回答はなく、市民に対して説明責任を果たさない姿勢が浮き彫りになりました。



3/21 議長不信任動議提出 提案理由で議長の問題を指摘

議長の、自らの会派をひいきする不公平な議事運営に対して、45 年ぶりとなる議長不信任案の動議を提出しました。浦和議員が述べた提案理由では議長の不適切な発言や議事運営に対してその問題点を指摘しました。市民の負託にこたえる議員の責務について訴えましたが、新政クラブと公明党の議員は反対討論をすることもなく平然とこの動議を否決しました。



3/22 市長が議長の 「修正動議はお灸」発言を暴露

最終日の挨拶の中で、市長が再度議長の問題発言について告発。「修正動議はお灸」という予算を弄ぶ発言や、新図書館見直しに伴う業者との仲介の提案があったことが暴露されました。



上尾政策フォーラム 所属議員



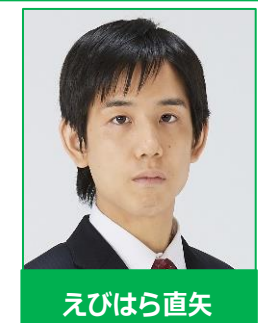
浦和三郎



池野こうじ



井上 茂



えびはら直矢